

精神

精神は、知性的存在者の認識能力、意志能力、判断能力の総称である（＝心、意識、気力、理念、理性、悟性、知性など）。

一般には、魂は感情、知覚、受動性にかかわる能力とされるのに対して、精神は能動的で知知的な働きとされる。（ウィキペディア）

タイトル(書名)	章:節 聖句 【検索対象総数：8 / 聖句等の総数 33250 (精神)8個】 ※新共同訳聖書では、「精神」は8回登場します。ところが・・・。	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：精神]
K 申命記	28:28 主はまた、あなたを打って、気を狂わせ、盲目にし、精神を錯乱させられる。 The Lord will afflict you with madness, blindness and confusion of mind .	★ mind ①知力、知性、思考力、頭脳 ②心、精神、③ものの考え方、気質 ④意見、意向、本心、願望、好み ⑤注意、関心、⑥知的な人、⑦記憶、回想、 ⑧正気、平静、理性
K 箴言	16:2 人間の道は自分の目に清く見えるが、主はその精神を調べられる。 All a person's ways seem pure to them, but motives are weighed by the Lord.	★ motive ①動機、目的、意志、意欲
S マタイによる福音書	22:37 イエスは言われた。「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind .	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』
S マルコによる福音書	12:30 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind and with all your strength.	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』
S ルカによる福音書	10:27 彼は答えた。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」とあります。 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your strength and with all your mind	★ soul ①魂、靈魂、靈、②精神、③熱情、生氣、氣迫、④本質的部分、生命、信條等
S テモテへの手紙Ⅰ	6:5 絶え間ない言い争いが生じるのです。これらは、精神が腐り、真理に背を向け、信心を利得の道と考える者の間で起こるものです。 and constant friction between people of corrupt mind , who have been robbed of the truth and who think that godliness is a means to financial gain.	精神→知性(聖書協会共同訳)
S テモテへの手紙Ⅱ	3:8 ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、彼らも真理に逆らっています。彼らは精神の腐った人間で、信仰の失格者です。 They are men of depraved minds , who, as far as the faith is concerned, are rejected.	精神→知性(聖書協会共同訳)
S ヘブライ人への手紙	4:12 というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。 For the word of God is alive and active. Sharper than any double-edged sword, it penetrates even to dividing soul and spirit , joints and marrow; it judges the thoughts and attitudes of the heart.	精神→魂(聖書協会共同訳)

⑧「聖書協会共同訳」では、「新共同訳」で誤訳(?)と思われる箇所が訂正されている(英文聖句は NEW INTERNATIONAL VERSION を用いています)。

▶精神 (広辞苑)

- ① (物質・肉体に対して) 心。意識。たましい。
- ② 知性的・理性的な、能動的・目的意識的な心の働き。根気。気力。→「向学の精神」
- ③ 物事の根本的な意義。理念。→「建学の精神」
- ④ 個人を超えた集団的な一般的傾向。時代精神・民族精神など。
- ⑤ 多くの観念論的形而上学では、世界の根本原理とされているもの。例えば、ヘーゲルの絶対精神の類。

▶精神 (明鏡国語辞典)

- ① 思考や感情の働きをつかさどる心。→「健全なる精神」
- ② 物事を成し遂げようとする気力。→「不撓不屈の精神」
- ③ 物事を支える根本となるもの。理念。→「民主主義の精神」

▶精神 (ブリタニカ国際大百科事典)

非物質的現象またはその基本とされる実体をさす概念。

その直接的認識は不可能なので精密な概念規定はなく、各思潮、各学派などで異なる。

原語は風、息吹きを意味し、人間に宿るきわめて軽妙なものと考えられ、生命の原理とされる。ここから神、天使なども精神とされ、特に神から離反する肉に対し神に従う霊と同義に用いられた。

一般には思考全般をさし、対象に対する主体が精神とされ、また物質、生み出されたものとしての自然、本能としての肉などに対立する知性をさし、転じては学説や制度などの中核的理念をも意味する。

▶精神 (新漢語林)

- ① ところ。たましい。⇔肉体。② 気力。元気。③ 生氣のあふれていること。生氣・光彩があつて美しいこと。④ 意義、理念。